

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年10月25日
【四半期会計期間】	第32期第3四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社ブロンコビリー
【英訳名】	BRONCO BILLY Co., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 竹市 克弘
【本店の所在の場所】	愛知県名古屋市名東区平和が丘一丁目75番地
【電話番号】	052 - 775 - 8000（代）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 古田 光浩
【最寄りの連絡場所】	愛知県名古屋市名東区平和が丘一丁目75番地
【電話番号】	052 - 775 - 8000（代）
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 古田 光浩
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第31期 第3四半期 累計期間	第32期 第3四半期 累計期間	第31期
会計期間	自平成24年 1月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 1月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 1月1日 至平成24年 12月31日
売上高(千円)	7,560,979	8,542,116	9,983,899
経常利益(千円)	1,053,826	1,182,630	1,432,785
四半期(当期)純利益(千円)	631,571	670,247	869,820
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金(千円)	803,337	803,337	803,337
発行済株式総数(株)	3,315,000	6,630,000	3,315,000
純資産額(千円)	6,128,925	6,879,620	6,372,349
総資産額(千円)	7,608,375	8,473,705	7,763,577
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	95.26	101.10	131.20
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	20.00	24.00	48.00
自己資本比率(%)	80.6	81.2	82.1

回次	第31期 第3四半期 会計期間	第32期 第3四半期 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	34.27	35.54

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 5 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れの懸念等依然として先行き不透明な状況となっておりますが、円安・株高が進行する等、景気回復への明るい兆しが見られ、高額品を中心として消費マインドの改善が見られるようになりました。

外食産業におきましては、価値を重視し高額でも許容する消費傾向がみられ、特に「ハレの日」にはお金を使う一方、日常の食事は価格重視の傾向と、二極化した競争の状況となっており、さらに中食を含めた熾烈な競争が深まっております。また、原材料価格の高騰等があり、業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

当社では、このような環境の下「お客様の立場で顧客創造」の企業理念に基づき、ご家庭では味わうことができない料理とサービスを価値と価格のバランスを取りながら提供する「ご馳走レストラン」のコンセプトを確固たるものにするべく、食材の調達力、商品開発と加工力、調理技術、接客サービスの強化に取り組んでまいりました。

その成果として当第3四半期累計期間では、売上高前年同期比13.0%増（既存店売上高前年同期比4.5%増）、四半期純利益前年同期比6.1%増と過去最高の業績を達成することができました。

メニュー政策では「価値と価格の両面でご満足いただけるメニュー作り」を実施いたしました。2月はメニュー改定に伴い、人気を博した680円（税別）のブロンコハンバーグランチを580円（税別）で復活させました。3～4月では当社の看板商品であるぶどう牛の肩ロースステーキのカット方法を見直し「熟成ぶどう牛炭火炙り焼きステーキ」としてランチメニューに導入、7月にはディナーメニューにも追加いたしました。さらに繁忙月の8月には期間限定でぶどう牛コンビメニューを導入し、お客様の嗜好等に合わせた柔軟なメニュー政策を実施してまいりました。

製造面では、品質の安定・向上と原価及び店舗人件費の低減のため、4月より全店舗で大かまどに炊飯制御ユニット自動タイマーの導入と、自社工場でハンバーグポーション機械化を稼働、さらに9月にはステーキを自動で切り分けるステーキポーションカッターを導入いたしました。

販促面では、ご好評いただいておりますキッズクラブで、お誕生日企画に加え卒園や夏休みといった来店動機が高まる時期にDM販促を実施し、再来店促進と顧客作りの強化に取り組みました。また「ハレの日」需要の取り込みとして「母の日」及び「父の日」企画にも取り組めました。

店舗面では、新設した店舗建設部により、新店舗、改装店舗ともにコスト削減にも取り組みながら千葉県初出店となる東千葉店をはじめ、沼津店（静岡県）、小田原店（神奈川県）、西尾店（愛知県）、高針店（愛知県）の5店舗を出店しました。また既存店活性化として、店舗改装を7店舗実施いたしました。一方で2店舗を閉鎖し平成25年9月末の店舗数は73店舗となりました。

以上の結果、売上高85億42百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益11億72百万円（同12.7%増）、経常利益11億82百万円（同12.2%増）、四半期純利益6億70百万円（同6.1%増）となりました。

(2) 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期会計期間末の資産合計は84億73百万円（前事業年度末77億63百万円）となり7億10百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が5億19百万円及び出店等により有形固定資産が2億35百万円増加したこと等によります。

（負債）

当第3四半期会計期間末の負債合計は15億94百万円（前事業年度末13億91百万円）となり2億2百万円増加いたしました。その主な要因は、短期借入金が1億61百万円及び賞与引当金が89百万円増加した一方、法人税等の納付により未払法人税等が1億32百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は68億79百万円(前事業年度末63億72百万円)となり5億7百万円増加いたしました。その主な要因は、四半期純利益の増加と配当金の支払等により繰越利益剰余金が4億99百万円増加したこと等によります。

なお、自己資本比率は81.2%(前事業年度末82.1%)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	11,260,000
計	11,260,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月25日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	6,630,000	6,630,000	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	単元株式数100株
計	6,630,000	6,630,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成25年7月1日 (注)	3,315,000	6,630,000	-	803,337	-	713,337

(注) 株式分割(1:2)によるものであります。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

なお、当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、株式分割前の株式数で記載しております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,314,000	33,140	単元株式数100株
単元未満株式	普通株式 900		
発行済株式総数	3,315,000		
総株主の議決権		33,140	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式8株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社ブロンコピリー	愛知県名古屋市中東区 平和が丘1丁目75	100		100	0.00
計		100		100	0.00

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第3四半期累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,976,581	3,495,882
売掛金	68,333	71,021
商品及び製品	42,387	28,989
原材料及び貯蔵品	191,715	135,485
その他	217,508	180,522
流動資産合計	3,496,525	3,911,901
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,431,997	2,537,889
構築物(純額)	225,178	243,979
工具、器具及び備品(純額)	297,025	328,787
土地	276,207	276,207
その他(純額)	76,176	155,235
有形固定資産合計	3,306,586	3,542,099
無形固定資産	86,271	82,603
投資その他の資産		
差入保証金	576,608	622,756
その他	297,585	314,345
投資その他の資産合計	874,194	937,101
固定資産合計	4,267,052	4,561,804
資産合計	7,763,577	8,473,705
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,403	214,439
短期借入金	96,552	258,334
未払金	399,605	418,075
未払法人税等	323,670	190,842
賞与引当金	16,423	105,975
販売促進引当金	32,877	30,912
その他	102,506	147,193
流動負債合計	1,176,038	1,365,771
固定負債		
資産除去債務	196,042	207,258
その他	19,147	21,055
固定負債合計	215,190	228,313
負債合計	1,391,228	1,594,085

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	803,337	803,337
資本剰余金	713,337	713,337
利益剰余金	4,849,606	5,347,477
自己株式	112	325
株主資本合計	6,366,168	6,863,827
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,180	15,793
評価・換算差額等合計	6,180	15,793
純資産合計	6,372,349	6,879,620
負債純資産合計	7,763,577	8,473,705

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	7,560,979	8,542,116
売上原価	2,027,027	2,348,539
売上総利益	5,533,952	6,193,577
販売費及び一般管理費	4,493,522	5,021,423
営業利益	1,040,430	1,172,153
営業外収益		
受取利息	1,450	1,585
受取配当金	1,198	1,327
受取賃貸料	16,790	17,010
受取保険金	6,264	1,190
協賛金収入	9,289	9,311
その他	4,195	2,451
営業外収益合計	39,189	32,877
営業外費用		
支払利息	538	643
賃貸費用	16,636	18,418
盗難損失	4,939	-
その他	3,679	3,338
営業外費用合計	25,793	22,400
経常利益	1,053,826	1,182,630
特別利益		
固定資産売却益	1,000	2,000
災害保険金収入	89,101	-
特別利益合計	90,101	2,000
特別損失		
固定資産除売却損	2,161	2,432
減損損失	3,648	-
災害による損失	35,171	-
店舗閉鎖損失	-	52,059
特別損失合計	40,981	54,491
税引前四半期純利益	1,102,946	1,130,139
法人税、住民税及び事業税	479,733	482,474
法人税等調整額	8,359	22,582
法人税等合計	471,374	459,891
四半期純利益	631,571	670,247

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
減価償却費	304,865千円	309,512千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月22日 定時株主総会	普通株式	66,299	20	平成23年12月31日	平成24年3月23日	利益剰余金
平成24年7月17日 取締役会	普通株式	66,298	20	平成24年6月30日	平成24年9月6日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年1月17日 取締役会	普通株式	92,818	28	平成24年12月31日	平成25年3月22日	利益剰余金
平成25年7月16日 取締役会	普通株式	79,557	24	平成25年6月30日	平成25年9月5日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)及び当第3四半期累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	95円26銭	101円10銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	631,571	670,247
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	631,571	670,247
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,629,917	6,629,828

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 当社は、平成25年7月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

中間配当に関する事項

平成25年7月16日開催の取締役会において、当期中間配当につき、次のとおり決議いたしました。

中間配当による配当金の総額	79,557千円
1株当たりの金額	24円00銭
支払請求の効力発生日および支払開始日	平成25年9月5日

(注)平成25年6月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月25日

株式会社ブロンコピリー

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡野 英生 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 楠元 宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ブロンコピリーの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの第32期事業年度の第3四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第3四半期累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ブロンコピリーの平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。